

## 研究グループの大学院生募集案内

項 目	内 容
1 研究グループ名 (英文名)	環境物質化学グループ (The Group of Materials and Environmental Chemistry)
2 教員氏名・所属	雨宮 隆 (教授・環境生命専攻) 伊藤公紀 (教授・環境生命専攻) 大谷裕之 (教授・環境生命専攻) 松本真哉 (教授・環境生命専攻) 横山幸男 (教授・環境生命専攻) 本田 清 (准教授・環境生命専攻)
3 研究概要	本グループでは地球環境と化学物質の相互作用を調査・理解し、多くの化学物質によって成立している私達の社会の将来を考える研究を行っています。分析化学や物理化学の手法を用いて地球環境の現状を理解し、更に合成化学や材料化学の手法によって環境負荷低減に資する新しい技術や素材を創製する研究を目指します。
4 求める人材像	環境中の化学物質の循環解明に役立つ分析化学や物理化学の新しい評価技術の開発に興味があり、新しい理論の創出に意欲的に取り組む姿勢を有する人材を求めています。また環境負荷軽減に役立つ新規化学物質の創製とその物性評価に関する研究に興味を持ちチャレンジする意欲を有する人材を求めています。
5 研究環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動合成装置、各種分光装置(UV-Vis, FL, FT-IR など)、ならびに各種分析装置(HPLC, GC-MS, LC-MS, 熱分解装置など)が使用できます。</li> <li>・機器分析評価センターに設置されている大型分析装置(NMR, 磁場型 MS, TOF-MS, LC-MS/MS など)が利用できます。</li> </ul>
6 多様な履修システム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一般学生のほか、社会人の方も歓迎します。</li> <li>・短縮修了：正規には修了に2年間(博士課程前期)もしくは3年間(同後期)かかりますが、それぞれ最短で1年間への短縮が可能です。</li> <li>・長期履修：仕事の都合で正規の期間での修了が困難と考えられる場合は、入学時に申請すれば、正規の期間の授業料で4年間(博士課程前期)もしくは6年間(同後期)までの長期履修が認められます。</li> </ul>
7 経済的支援	授業料免除、RA (リサーチ・アシスタント)、TA (ティーチング・アシスタント) の制度が充実しています。
8 募集スケジュール	第1次募集 (2013年10月入学及び2014年4月入学) <ul style="list-style-type: none"> <li>・出願期間：平成25年6月17日～6月20日 (書留郵便による郵送受付)</li> </ul> 詳しい内容は下記の大学 Web ページを参照してください。 <a href="http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html">http://www.eis.ynu.ac.jp/applicant/index.html</a>
9 問い合わせ・連絡先	物質系： <a href="mailto:smatsu@edhs.ynu.ac.jp">smatsu@edhs.ynu.ac.jp</a> 環境系： <a href="mailto:amemiya@ynu.ac.jp">amemiya@ynu.ac.jp</a>